

9月1日に「総合防災訓練」を実施しました ～新型コロナウイルス禍における大規模地震・津波に対する災害対応を強化～

東北地方整備局では、毎年防災週間（8月30日～9月5日）中に防災訓練を実施しています。今年は9月1日（水）に福島県沖を震源とする地震と津波の発生を想定し、災害発生時における被災状況の迅速かつ確かな伝達及び情報共有などの災害対応訓練を実施しました。

本訓練は、非常体制時の災害対策室活動の対応や多様な情報通信機器を活用し、被災情報の収集、伝達及び自治体支援訓練等を実施することにより、迅速かつ広域的な災害対応の能力向上を図ることを目的としています。なお、今回の訓練は、宮城県が緊急事態宣言、福島県がまん延防止等重点措置対象地域となったことを考慮し、外部との接触を最小限に抑え、訓練規模を縮小する等、感染症対策を講じながら実施しました。

1. 訓練日時
令和3年 9月1日（水） 9:40～12:00
2. 実施場所
東北地方整備局 災害対策室（仙台合同庁舎 B 棟12階）
3. 訓練想定
福島県沖を震源とする震度6強の地震（津波あり）が発生し管内広域で震度6弱を観測。
4. 訓練のポイント
 - ①新型コロナウイルス禍における非常体制時の感染リスク回避を踏まえた災害対策室活動の対応検証や、リエゾン、TEC-FORCE 派遣などの机上訓練を行う。
 - ②スマートフォンによる映像配信、ドローンカメラ等による現地からの映像中継による情報収集に加え、多様な通信設備（Car-SAT、i-RAS）を用いた映像中継を行う。
 - ③総合災害情報システム（DiMAPS）を用い、現場の被災状況や写真を地図上に表示することで情報共有を行う。



写真1 東北地方整備局長からの訓示



写真2 防災ヘリコプター「みちのく号」

<発表記者会>宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 防災室
宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟 TEL:022-225-2171(代表)
防災室長 本木 雅信 (もとき まさのぶ) (内線2151)
課長補佐 小野寺 克哉 (おの でら かつや) (内線2154)